



東中だより

目指す学校像
キャッチフレーズ

生徒一人一人を大切にし 信頼される学校
蕨東の あいさつ一つで笑東へ

生徒数(名)
男子 210
女子 173
計 383

令和8年度の折り返しを迎えて

校長 阿部 仁

～熊本地震災害義援金募金協力のお礼～

前号の最後にもお伝えした募金活動は、9月3日、4日、7日及び音楽祭当日にも募金箱を設置して行いましたが、多くの方々のご協力を得て、6万円以上の募金が集まりました。募金の呼びかけを行った本校WSSの生徒の活躍、趣旨にご賛同いただき募金をしてくれた、生徒をはじめとする多くの皆様には、改めて深く感謝申し上げます。後日、三つの中学校が合同で、市長への贈呈に伺うこととしております。

ご協力、ありがとうございました。

～新人戦がスタートしました!～

令和8年度の新人戦が9月29日からスタートしました。現2年生が主軸となった新チームでの公式戦です。前日の28日に行われた壮行会では、各部とも部長を中心に意気込みを語り、大会にかける意気込みが感じられた時間でした。この文章を書いている時点で、全ての競技の結果が出ているわけではありませんが、各試合では、全員が声を出し、自分のチームの勝利のために懸命に努力する姿が見てとれました。もちろん試合ですから勝敗はつきものです。善戦しながら惜しくも敗退したことに、選手たちが涙を流す光景が各競技会場で散見されました。これまでの努力が一步及ばなかったことへの感情の発露、試合や仲間たちへの思入れ、そういったものが溢れ出た証なのだと思います。これこそが、学校生活を通して、そして、部活動という活動を通して得られる大きな経験だと思います。そこか

ら、それぞれ何か感じ取り、次にどのように生かすのか、ここが勘所だと考えます。そして、その経験に“意味や価値”を与えるのが、教育に携わる者の責務でもあります。以前にも記しましたが、単なる経験で終わらせることなく、経験を知見に変えていくことこそが、本当に大切なことなのです。

～令和8年度の後半に向けて～

10月の声を聞くと、暦の上では令和8年も残すところ3か月となるのですが、学校暦(年度)の考え方だと、9月末日で前半が終わり、いよいよ後半戦に突入ということになります。先日は、生徒会選挙が行われ、生徒会活動も2年生が学校を担っていく立場になりました。裏面にもあるように、9月12日に開催した音楽祭は、年度前半の最大の学校行事であり、どのクラスも練習の成果を思う存分発揮してくれました。結果発表を聞いて、入賞に届かなかった幾人もの生徒が涙していた姿を見るにつけ、前述の新人戦同様に、行事で成長していることが感じ取れました。これからの時期には、学校行事としては体育祭が、学年行事としては、2年生校外学習、1年生スキー教室と、行事が目白押しです。行事における事前準備活動、それらを通して生徒たちがどのように成長していくのかが楽しみでもあります。



— 了 —